

(4) 鳴海杵神社本殿、祭文殿、拝殿、社務所、弁天堂、藩塀について

所在地：犬山市大字羽黒字成海郷109他

所有者：鳴海杵神社

名称	形式	建設年代	登録基準
鳴海杵神社本殿	木造平屋建、檜皮葺 (銅板仮葺)	大正6(1917)年	造形の規範となっているもの
鳴海杵神社祭文殿	木造平屋建、瓦葺	大正6(1917)年頃	国土の歴史的景観に寄与しているもの
鳴海杵神社拝殿	木造平屋建、瓦葺	大正6(1917)年頃	国土の歴史的景観に寄与しているもの
鳴海杵神社社務所	木造平屋建、瓦葺	大正6(1917)年頃	国土の歴史的景観に寄与しているもの
鳴海杵神社弁天堂	木造平屋建、瓦葺	元治2(1865)年	国土の歴史的景観に寄与しているもの
鳴海杵神社藩塀	木造、瓦葺	大正6(1917)年頃	国土の歴史的景観に寄与しているもの

【概要】

犬山市の五条川南岸に位置する式内社¹。本殿は正面に千鳥破風²、向拝³に軒唐破風⁴を付す複雑な屋根構成。随所に彫刻を施した意匠優秀な本殿。祭文殿は南北棟の前面両脇に棟を直交して東西棟を付した変化のある屋根で、社頭景観をつくる。拝殿は四周を吹放ちとした軽快な建物ながら基壇上に建つ堂々たる姿。社務所は簡素な意匠ながら、境内入口脇の景観を引き締める。弁天堂は境内最古の堂宇⁵で湧水池の脇に建つ。藩塀は尾張地方独特の目隠し塀で、境内の歴史的景観をつくる。

式内社¹ 平安中期の法典である「延喜式」神名帳に登載されている神社。

千鳥破風² 屋根の流れ面に起こした三角形の屋根の妻側の造形(破風)

向拝³ 仏堂や社殿の屋根の中央が前方に張り出した部分

軒唐破風⁴ 軒先の一部につけられた頭部に丸みをつけて造形した破風(唐破風)

堂宇⁵ 四方に張り出した屋根をもつ建物



鳴海杵神社本殿 (犬山市提供)



鳴海杵神社祭文殿 (犬山市提供)



鳴海杵神社拜殿（犬山市提供）



鳴海杵神社社務所（犬山市提供）



鳴海杵神社弁天堂（犬山市提供）



鳴海杵神社藩塀（犬山市提供）